

【令和4年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和2年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内のあった時期	申請方法	奨学会等名	給付/貸付	金額(円)	支給期間	出願資格等		学内採用者数	大学採用者数	学内申請者数	大学採用者数	大学採用者数							
						学内採用者数	大学採用者数												
						学内採用者数	大学採用者数												
						学内採用者数	大学採用者数												
3月	大学推薦	(公財)村井順記念奨学財団	給付	30,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	理工学部	学内奨学金、日本学生支援機構奨学金のみ併用可	○	○	○	・学業優秀、品行方正、身体健康でありながら、経済的理由により修学が困難な者 ・採用された場合は、財団の行事(原則年1回)に出席できる者	12~13名程度	若干名	1名	1名	1名	
3月	大学推薦	(公財)米澤・リンガー・ハット財団 ◀鳥取県・長崎県▶	給付	20,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	学部満23歳以下 院満33歳以下 (2022年3月31日時点)	○	○	○	・鳥取県、長崎県内の高等学校等を卒業し、2022年4月現在、学部2~4年生または大学院に在籍する者 ・給与収入世帯は合計年収600万円未満、給与収入以外の世帯は自営業などその他収入340万円未満 ・心身ともに健康、学費の支弁が困難と認められる者 ・GPA3.0以上(秀×4+優×3+良×2+可×1/総単位数で計算。詳細は要項参照) ・面接(書類選考通過者)あり	10~15名程度 (鳥取県、長崎県各名程度)	学内選考無	0名			
3月	大学推薦	(学内奨学金) YNU大澤奨学金	給付	50,000円/月額	3年間 (引き続き修学課程2年間支給可。1年毎継続審査あり)	○	○	○	2年生	○	○	○	・学部の正規課程に在籍する2年生(2022年4月現在)の日本人学生(外国人留学生は対象外)で、成績優秀かつ経済的理由により修学が困難な者を対象 ・一次選考・書類選考 二次選考:面接(5月下旬予定)	4~5名			8名	5名	
3月	大学推薦	(学内奨学金) YNU竹井准子記念奨学金	給付	50,000円/月額	4年間 (1年毎継続審査あり)	○	○	○	1年生	○	○	○	・学部の正規課程に在籍する1年生(2022年4月現在)の日本人女子学生(外国人留学生は対象外)かつ母子父子家庭または両親のいない家庭の者で、成績優秀かつ経済的理由により修学が困難な者を対象 ・奨学金に採用された場合、大学が開催する「奨学金目録贈呈式」等に参加が義務(毎年7月頃に開催予定)不参加の場合、採用取消となる場合あり ・一次選考・書類選考 二次選考:面接(5月下旬予定)	3名			2名	2名	
3月	大学推薦	(学内奨学金) 新入生スタートアップ支援金	給付	150,000円/1回	1回限り	○	○	○	1年生	○	○	○	・学部の正規課程に入学する1年生(2022年4月現在)の日本人学生(外国人留学生は対象外)で、成績優秀かつ経済的理由により修学が困難な者(当面的に、世帯年収が271万円未満(税込)の世帯)で、成績優秀かつ経済的理由により修学が困難な者(当面的に、世帯年収が271万円未満(税込)の世帯)で、成績優秀かつ経済的理由により修学が困難な者を対象 ・学業優秀で心身ともに健康であり、将来社会的に有益な活動を目指す者 ・学力基準あり(学部1年生:高校3年間評定平均値4.0以上、学部2年以上、GPA3.1以上) ・家計基準あり(募集案内参照)	20名程度	1名				
3月	大学推薦	(学内奨学金) 八幡ねじ・鈴木健吾奨学金	給付	50,000円/月額	学 部 生 :2022年4月~卒業まで3年間、毎年継続審査あり 大 学 院 生 :2022年4月~卒業まで2年間、毎年継続審査あり	○	○	○	2年生	○	○	○	・学部または大学院の正規課程に在籍する日本人学生(外国人留学生は対象外)で、以下の条件を満たしており、成績優秀かつ経済的理由により修学が困難な者を対象 (学 部 生)経済学部、経営学部、都市科学部都市社会共生学部の2年生(2022年4月現在) (大 学 院 生)先端工学部理工学、理工学、環境情報学部、都市イノベーション学部の博士課程前期1年生(2022年4月現在) ・学部卒業または大学院修了後の民間企業への就職意志が明確であること ・親元を離れて一人暮らしをしており、経済的理由により安定した就学環境の確保が困難であること	3名		7名		院2名	
4月	大学推薦	(公財)伊勢丹奨学会	給付	30,000円/月額	正規の最短期修業年限まで	○	○	○	新1年生	○	○	○	・学部1年生(2022年度入学)対象 ・高校の最終2か年の学業成績の評定平均値7.5以上 ・学業・人物ともに優秀、修学可能な心身で、学費の支弁が困難な者 ・採用された場合、財団行事に出席できる者	8名	1名	1名	1名	1名	
4月	大学推薦	(一財)大森昌三記念財団	給付	30,000円/月額	2022年4月より正規の最短期修業年限	○	○	○	学部満23歳以下 院満33歳以下 (2022年4月2日)	○	○	○	・もの作りに携わり、技術の向上及びもの作りに関する研究を行う者 ・GPA3.0以上、人柄に優れ、学費の支弁が困難と認められる者	20名程度	2名	学部4名 院0名	学部0名 院2名	学部0名 院0名	
4月	大学推薦	(公財)川村育英会【学部】	給付	30,000円/月額	2022年8月より大学卒業まで	○	○	○	2年生	○	○	○	下記のすべてに該当する者 ①化学、応用化学、化学工学などの化学系、および、機械、電気電子工学系を専攻 ②父母及び生計を一にする家族の年間収入(祖父母の年金収入は除く)が、500万円以下 ③成績証明書記載の学業成績に占める、80点以上の成績評価の割合が50%以上 ※採用された場合、8/27(土)の奨学生証授与式・講演会・交流会に必ず出席できる者	6名	1名	1名	1名	1名	
4月	大学推薦	(公財)川村育英会【大学院】	給付	60,000円/月額	2022年8月より修士課程修了まで	○	○	○	1年生	○	○	○	下記、すべてに該当する者 ①化学、応用化学、化学工学などの化学系、および、機械、電気電子工学系を専攻 ②父母及び生計を一にする家族の年間収入(祖父母の年金収入は除く)が、500万円以下 ③成績証明書記載の学業成績に占める、80点以上の成績評価の割合が50%以上 ※採用された場合、8/27(土)の奨学生証授与式・講演会・交流会に必ず出席できる者	13名	1名	3名	1名	1名	
4月	大学推薦	(公財)G-7奨学財団	給付	上限100,000円/月額 (年間上限1,200,000円)	令和4年4月~令和5年3月(継続の再申請可能。標準修業年限を上限として支給)	○	○	○	○	○	○	○	・日本国籍を有する者 ・学業優秀で心身ともに健康であり、将来社会的に有益な活動を目指す者 ・学力基準あり(学部1年生:高校3年間評定平均値4.0以上、学部2年以上、GPA3.1以上) ・家計基準あり(募集案内参照)	38名程度		学部5名 院10名	学部1名 院1名	0名	
4月	大学推薦	JEES-MUFG緊急支援奨学金(一時金)	給付	100,000円/一回限り	令和4年6月頃支給	○	○	○	○	○	○	○	次のすべてに該当する者 ・令和4年4月、日本国内の大学及び大学院に在籍する日本人学生(永住者を含む) ・新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的な損失が発生し、学業継続に経済的援助が必要な者(例:アルバイトの失業者、アルバイト収入が新型コロナウイルス感染症蔓延以前と比較して大幅に減少した者、家族からの仕送りの減少者等) ・人物が優れていて、学業に真摯に取り組んでいる者 ・過去にJEES奨学金、JEES緊急支援奨学金を受給していない者、又は受給予定でない者 ・本奨学金受給後、要請に応じ、アンケート等回答および交流会参加できる者	記載無	3名				
4月	大学推薦	(公財)春秋育英会	給付	30,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	○	○	○	○	・日本在住の所定の保証人が得られる者 ・心身健全、学力優秀かつ経済的理由により修学困難な者 ・原則として保護者の年収が600万円以下	記載無	2名	10名	2名	2名	
4月	大学推薦	(公財)高村育英会	給付	50,000円/月額	正規の最短期修業年限まで	○	○	○	○	○	○	○	・家計維持者の令和3年分課税所得が300万円(給与所得者の場合、収入が600万円程度)以下であり、下記いずれかに該当する者 ①母子、父子世帯 ②障害者のいる世帯 ③長期療養者(6ヶ月以上)のいる世帯 ④火災・風水害、盗難等の著しい被害を受けた世帯 ⑤生活保護法による被保護世帯及びこれに準ずると認められる世帯 ⑥①~⑤と同等の事由により修学が困難な世帯	24名		1~2名			
4月	大学推薦	(公財)中村積善会	給付	50,000円/月額	正規の最短期修業年限	○	○	○	○	○	○	○	・学部生、大学院生で、出願時の年齢が40歳以下の者 ・成績が優れた者で、家計基準が日本学生支援機構第一種奨学金の基準内の者 ・10月入学者は不可、勤先からの派遣学生は不可、学業に支障のあるような定職又はアルバイトに従事している者は不可 ・自主的向学心に富み、態度・行動が学生にふさわしく、将来、良識ある社会人として活動し、国家社会に貢献し得る素質の見込みがある者	記載無	3名				
4月	大学推薦	(公財)日揮・実吉奨学会	給付	300,000円/年額(一括支給)	1年間	○	○	○	○	○	○	○	・理工系学部・大学院に在学する日本国籍をもつ学生 ・人物・学力に優れ、健康である者 ・支給決定後、当金が実施する面談(10~12月開催)に出席できる者	5名程度	5名	学部16名 院36名	学部2名 院4名	学部2名 院4名	
4月	大学推薦	(公財)長谷川財団	給付	30,000円/月額	最短期修業年限まで	○	○	○	○	○	○	○	・学業意欲旺盛、品行方正、健康でありながら経済的理由等により修学困難と認められる者	18名程度	1名	学部5名 院4名	学部1名	0名	
5月	大学推薦	◀土木教室にて申請▶ (一財)上田記念財団	給付	50,000円/月額 (4月・7月・10月・翌年1月に3か月分をまとめて支給)	2年間	○	○	○	○	○	○	○	・令和4年4月1日現在、土木工学系の学部3年生または大学院修士(博士前期)課程1年に在籍する者 ・将来、土木工学を活かした職業(建設関係企業など、研究開発・教員・公務員を含む。)に就職する意志を持つ者 ・人物、学力ともに優れ、かつ健康であり、経済的援助を必要とする者	記載無	1名	院3名	院3名	院3名	
5月	大学推薦	JEES日本語教育普及奨学金	給付	50,000円/月額	令和4年10月~令和5年3月までの6ヶ月間	○	○	○	○	○	○	○	・協会が実施する他の奨学金との併給不可 ・他団体奨学金等の受給額合計が年額80万円以下の者(貸付型奨学金、国の高等教育修学支援新制度による学費減免を除く) ・過去に本奨学金を受給したことがない者 ・採用された場合、他の奨学金を受給目的のため本奨学金を辞退不可	20名程度	2名程度	1名	1名	1名	
6月	大学推薦	(一社)大学女性協会	給付	一般奨学生:200,000円/1回 社会福祉奨学生:学部100,000円/1回、院200,000円/1回	1回限り	○	○	○	○	○	○	○	○	・一般奨学生:大学院に在籍1年以上の女子学生、学業・人物ともに優れた者 ・社会福祉奨学生:学部・大学院に在籍1年以上の女子学生で身体に障害があり、かつ学業・人物ともに優れた者、身体障害者手帳の交付を受けていること ・過去に当協会の奨学金を受給した者は再応募することはできない ・在学年数に修学期間を含まず翌年2月末日に在籍すること、秋入学の場合は応募年の10月末日時点で上記資格を満たしていること	一般6名 福祉3名以内	1名	1名	1名	0名
7月	大学推薦	(一財)理とま財団 【奨年度支給】	給付	80,000円/月額	最短期修業年限まで	○	○	○	○	○	○	○	・日本国籍を有し、理工系大学の学部3年生で4年生へ進級が見込まれる者または3年生で学内の修士(博士前期)課程へ進学が決定している者 ・学業優秀、健康、品行方正であり、経済的理由により学費の支弁が困難であること ・対象分野は、工学系、理学系、情報系(医・歯学系、看護・保健・福祉系、薬学系、農学系、文系は対象外)とする ・財団の要請に従い成績表、生活状況報告書を提出できる者	1名	6名	1名	1名	1名	
7月	大学推薦	(公財)林レオロジー記念財団 【RS年度支給】	給付	学部:30,000円/月額 修士:50,000円/月額	最短期修業年限まで	○	○	○	○	○	○	○	・令和5年4月に、学部3~4年生、修士(博士前期)課程1~2年生に進級する(進学を希望する)者 ・未来に役立つ理論・メカニズムの設計工学・ロボット工学・AI技術・IT技術・制御工学等の自動制御システムに関する学問を志す得たメカニズムを志す工学部・理学部系の者、もしくは「食品産業に関する」農産学部・生命科学部系等の者	学部10名程度 院20名程度	学部1名程度 院1名程度	学部3名	1名	1名	
9月	大学推薦	(公財)佐藤国際奨学財団 ◀くなくなく探求>奨学金	給付	80,000円/月額	学部4年後期(2022年10月)から修士標準修業年限まで 他補助金制度あり	○	○	○	○	○	○	○	以下、全てを満たすこと ①日本国籍を有すること ②2023年4月から大学院修士課程(博士前期含む、以下同じ)に進学が決定または内定していること(学部生は進学する大学院は他大学でも可。但し、関東7都県(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県)の大学院に限る) ③研究目標が明確であり、修士課程修了後も博士課程で研究を続ける計画があること ④奨学金受給時期に、他の奨学金又はこれに類する金品を受給していないこと(貸付奨学金及び学費免除は可、但し学部4年次に給付型奨学金を既に受給している場合は15万円まで併給可。5万円を超える場合は、応相談) ⑤在学年数に修学期間を含まず翌年2月末日に在籍すること、あるいは目標をもって学業力向上に努めること ⑥財団設立者(佐藤隆 様)の理念を理解し、グローバル視野をもち社会貢献に積極的であること ⑦奨学生として採用された後、異文化交流を目的とする財団の交流会(年6回、主に東京で開催・交通費支給)に必ず出席できること ⑧奨学支援期間終了後もSATOM(当財団の卒業生の総称)として財団の交流活動やネットワーク構築等に積極的に協力できること ⑨認証証に必ず出席出来ること ⑩財団の奨学生規則をよく理解し申請すること	3名程度	2名	1名	1名	1名	
10月	大学推薦	JEES・ソフトバンク人材育成奨学金 【翌年度支給】	給付	80,000円/月額 一時金40,000円(一時金は令和4年7月支給)	令和4年4月より令和5年3月まで	○	○	○	○	○	○	○	・令和4年4月に大学院修士課程1年次に正規生として在籍予定の者 ・応募時点で人工知能(AI)分野(情報工学、情報科学、統計学等)の学修・研究に取り組んでおり、令和4年4月以降も同分野の学修・研究に取り組む者 ・日本人学生(休職中を含む)でない者 ・協賛及び寄付者の要請に応じ、インタビュー(有給)(令和4年7月~9月までの間に実施予定)への応募及びアンケートへの回答義務あり。インタビュー参加は応募後、別途選考あり(令和4年5月~7月までの間に予定) ※他の奨学金との併用可ではあるが、採用後支給期間終了までの間、他の奨学金を受給するための辞退は不可	22名程度	1名	2名	1名	0名	
11月	大学推薦	(公財)博報堂教育財団	給付	ア. 授業料相当額:50,000円/月額 ※授業料免除との併用の場合、減額の可能性があります イ. 自宅外生への特別支援額:50,000円/月額 ※自宅外生の認定は採用後「自宅外通学申立書」により財団が認定	最短期修業年限まで	○	○	○	○	○	○	○	・小中学校教員、特別支援学校教員、中学・高等学校国語科教員のいずれかを担う者 ・※1推薦枠は小学校教員志望者、2推薦枠は小学校教員・特別支援学校教員・中学・高等学校国語科教員志望者のいずれか ・学業優秀であり、教員に自然な態度、共働き、国語力があると認められる者 ・面接(第1推薦枠:7/9(土)予定、第2推薦枠:7/10(日)予定)あり ・採用の「高等教育の修学支援新制度」について、授業料免除との併用は可能だが、日本学生支援機構給付型奨学金との併用不可。そのほか、意向に採択され、本奨学金を受給する場合、日本学生支援機構給付型奨学金については、給付停止を申請すること	100名程度	第1推薦枠1名 第2推薦枠1名	2名	2名	2名	
12月	大学推薦	(公財)エンパス構田教育振興財団	給付	50,000円/月額	2022年4月~卒業まで ※ただし、条件が満たない場合は途中で中止の可能性あり	○	○	○	○	○	○	○	・2022年4月時点で、理工学部の2~4年生であること ・学業優秀であり、経済的援助が必要と認められる者 ・心身ともに健康、学費の支弁が困難な者、品行が正しく、将来良識ある社会人としての活躍が期待できる者 ・申請書で他の給付奨学金を受けていないこと ・給付後も決められた書類の提出ができる者	13名程度	1名	1名	1名	1名	
1月	大学推薦	(公財)寄人奨学会 寄人入村奨学会(修士課程)	貸付	80,000円/月額(無利息)	2022年4月から正規の修士課程修了月まで	○	○	○	○	○	○	○	・2021年秋(9月・10月)または2022年4月に、修士課程(博士課程前期)に進学することが決定している、または見込める学生 ・専攻領域あり ・返済免除は募集要項を確認	10名		2~3名			
2月	大学推薦	(公財)松尾奨学育成基金 ◀長崎県▶	貸付	42,000円/月額(無利息)	大学の所定修学期間 在学学生はその残存修学期間	○	○	○	○	○	○	○	・長崎県内に住所を有する者の子弟で、下記①または②に該当し、成績優秀(5段階評価で概ね3.3以上)、品行方正(身体健康)である者 ①交通事故によって家計支持者または保護者が死亡または当該事故に起因する重度の後遺障害のため就業不能となった結果、経済的に支弁を生じ、学修の継続が困難となった者 ②交通事故(備考①に該当する者)は貸付奨学金の半額を返済免除する ③上記①以外で、向学心に富み、有能な素質を持ちながら、家庭の経済的理由によって、学修の継続が著しく困難である者	記載無		0名			
3月	大学推薦	(公財)味の素奨学会	貸付	学部:自宅30,000円/月額(無利息) 院:自宅40,000円/月額(無利息) 院:自宅外45,000円/月額(無利息)	正規の最短期修業年限まで	○	○	○	○	○	○	○	・化学をはじめとする理系全般の学修を専攻する者 ・学業人物ともに優秀で、旺盛な学業意欲を有し、かつ経済的援助を必要とする者 ・総額十ナカ記念奨学金制度による返済免除制度あり(女性)	15名		2~3名	0名	0名	
3月	大学推薦	石川県教育委員会	貸付	44,000円/月額(無利息)	正規の最短期修業年限まで	○	○	○	○	○	○	○	・保護者が石川県内に引き続き3年以上居住していること ・奨学意欲があり、学費の支弁が困難な者であること(父母の年収制限あり)	80名					
3月	大学推薦	川崎市教育委員会	貸付	38,000円/月額(無利息)	令和4年4月から正規の修業年限終了まで	○	○	○	○	○	○	○	・保護者が川崎市に1年以上居住していること ・学費の支弁が困難であり、学業成績が優良で、品行が善良であること	10名程度					
3月	大学推薦	(公財)小堀雄久先生等支援会 ◀前期募集▶	貸付	40,000円/月額(無利息)	最短期修業年限まで	○	○	○	○	○	○	○	・成績優秀で向学心に富み、品行方正であること ・保護者(家計扶養者)の年間収入(税込)が1,000万円以下であること ※学部生は、本学の大学院進学の場合、更新手続きを経て2年度以降延長可能	記載無	4名				
3月	大学推薦	福島県教育委員会	貸付	35,000円/月額(無利息)	令和4年4月から正規の最短期修業年限	○	○	○	○	○	○	○	・福島県内の高校を卒業した者または県外の高校を卒業し、高校卒業の月に福島県奨学金を受けていた者 ・学力基準:1年生は高校の最終2か年の評定平均3.0以上、2年生以上はさらに大学での成績が優る学部の平均水準以上であること ・経済基準:生計維持者の1年間の所得金額が規定する基準額以下であること	120名程度(予約採用内定者30名を含む)					

【令和4年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和2年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

学内のあった時期	申請方法	奨学会等名	給付/貸付	金額(円)	支給期間	出願資格等				学費優遇	経済困難	面接	全体での採用者数	大学種別	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数
						学部	院	年齢	専門分野								
3月	大学推薦	(公財)みずほ育英会	貸与	学部:50,000円/月額 大学院:60,000円/月額	最短修業年限	○	○	○					30名程度	2~3名	院1名	院1名	院1名
3月	大学推薦	(公財)宮崎県奨学会 宮崎県	貸与	25,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○					5名程度	学内選考無	0名	0名	0名
4月	大学推薦	(一財)関育英奨学会	貸与	30,000円/月額(無利子)	正規の最短修業年限	○	○	○					20名	1~2名			
4月	大学推薦	(公財)フジクラ育英会	貸与	学部:30,000円/月額(無利子) 院:40,000円/月額(無利子)	正規の最短修業年限まで	○	○	○					記載無	1名	0名		
4月	大学推薦	(公財)宮崎県奨学会	貸与	25,000円/月額(無利子)	正規の修学期間の範囲内	○	○	○					5名	学内選考無			
7月	大学推薦	(公財)松藤奨学育成基金 長崎県	貸与	42,000円/月額(無利子)	大学の所定修学期間、在学学生はその残存修学期間	○	○	○					記載無	記載無	0名	0名	0名
8月	大学推薦	(公財)常人奨学会 常久村奨学生(博士課程)	貸与	100,000円/月額(無利子)	2022年4月から正規の博士課程修了月まで	○	○	○					10名	2~3名			
9月	大学推薦	(公財)小坂道志学生等支援会 後期募集	貸与	40,000円/月額(無利子)	令和4年10月~ 最短修業年限まで	○	○	○					記載無	4名			
1月	直接応募	(公財)佐々木樹育英会 「口語詩句奨学金」	給付	年額500,000円(月割・給付型)	2022年4月~1年間	○	○	○					5名				
1月	直接応募	(公財)佐々木樹育英会 「建築奨学金(構造設計・設備設計を含む)」	給付	学部生 年額500,000円、大学院生 年額1,000,000円(月割・給付型)	2022年4月1日~2023年3月31日の1年間	○	○	○					若干名				
1月	直接応募	<新規財団> (一財)大学生奨学財団	給付	100,000円/年額	2022年4月1日~2023年3月31日の1年間	○	○	○					10名				
1月	直接応募	(一財)TCS奨学会	給付	50,000円/月額	2022年4月1日~2023年3月31日の1年間	○	○	○					30名程度				
2月	直接応募	(公財)キーエンス財団	給付	80,000円/月額	2022年4月~ 最短修業年限まで	○	○	○					500名程度				2名
2月	直接応募	(公財)志・建設技術人材育成財団 兵庫県	給付	500,000円/年額	2022年4月1日~2023年3月31日の1年間	○	○	○					5名				
2月	直接応募	(公財)マブチ国際育英財団 翌年度支給	給付	100,000円/月額 入学一時金 300,000円(学部新1年生のみ)	2022年4月から2023年3月までの1年間 ※財団の条件を満たし、認定されれば継続支給の可能性あり	○	○	○					65名程度	(継続)1名	(継続)1名	(継続を含め)3名	
2月	直接応募	<新規財団> (公財)リソー教育若佐財団	給付	1,000,000円/年額	2022年4月1日~2023年3月31日の1年間	○	○	○					20名				
3月	直接応募	公益信託池田育英会トラスト 愛媛県	給付	17,000円/月額 (7月・1月に102,000円を給付)	2022年4月1日~2023年3月31日の1年間	○	○	○					5名(予定)				
3月	直接応募	<新規財団> (一財)ASU財団	給付	30,000円/月額	正規の修学期間まで	○	○	○					30名程度				1名
3月	直接応募	(一財)神山財団	給付	200,000円/年間(一括支給)	2022年4月1日~2023年3月31日の1年間※	○	○	○					20名程度				
3月	直接応募	(公財)キーエンス財団 応援給付金)	給付	300,000円/1回	1回限り	○	○	○					1,000名程度				22名
3月	直接応募	(公財)木原財団	給付	480,000円/年額	2年間(学部3・4年次)	○	○	○					10名				0名
3月	直接応募	(公財)清国奨学会	給付	25,000円/月額	正規の最短修業期間	○	○	○					18名程度				0名
3月	直接応募	在日本朝鮮人教育会	給付	学部1年生:160,000円/年額 学部2年生以上:200,000円/年額	1年間 (毎年再審査あり)	○	○	○					記載無				
3月	直接応募	(公財)サカタ財団	給付	70,000円/月額	給付開始月から正規の学生課程修了月まで	○	○	○					10名				
3月	直接応募	<新規財団> (一財)神保教育文化財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	2年間	○	○	○					10名				
3月	直接応募	(公財)開通物流技術振興財団	給付	480,000円/年額	2年間(学部3・4年次)	○	○	○					10名				
3月	直接応募	(公財)ダイオーズ記念財団	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○					10名程度				
3月	直接応募	(公財)朝鮮奨学会	給付	学部:25,000円/月額 院:40,000円/月額 博士:70,000円/月額	1年間	○	○	○					学部770名 院110名				
3月	直接応募	(公財)東電記念財団 翌年度支給	給付	50,000円/月額	最短修業年限まで (最長3年)	○	○	○					5名程度				
3月	直接応募	(公財)戸部眞紀財団	給付	50,000円/月額(年額600,000円) ※他の奨学金との併給(返済義務なし)の場合は半額となる場合がある	2022年4月1日~2023年3月31日の1年間※	○	○	○					40名程度				
3月	直接応募	中村育英奨学会	給付	480,000円/年額	2022年4月1日~2023年3月31日の1年間	○	○	○					10名				
3月	直接応募	(公財)日本通運育英会	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○					20名				
3月	直接応募	(公財)野島財団	給付	50,000円/月額	正規の最短修業期間	○	○	○					10名程度				

【令和4年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和2年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内のあった時期	申請方法	奨学会等名	給付/貸与	金額(円)	支給期間	出願資格等		学力優秀	経済困難	面接	全体での採用人数	大学種別	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数	
						学部	専攻(後期)									
3月	直接応募	(一財)山村章奨学財団	給付	480,000円/年額	2022年4月1日～2023年3月31日の1年間※	○	3年生	25歳以下(2022年4月1日現在)	工学系	併給可	○	○	10名			
3月	直接応募	＜新編財団＞(一財)森山財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	2年間	○	3年生	25歳以下(2022年5月31日現在)	経済系学部	併用可	○	○	10名			1名
4月	直接応募	エイブル文化振興財団	給付	100,000円/年額	2022年4月1日～2023年3月31日の1年間※	○				併用可	○	○	40名程度			
4月	直接応募	岡本育英奨学会	給付	480,000円/年額(一括給付)	2022年4月1日～2023年3月31日の1年間※	○	3年生	25歳以下(2022年4月1日現在)	経済学部、経営学部	併用可	○	○	10名			1名
4月	直接応募	＜新編財団＞(一財)KAWAJIRI FOUNDATION	給付	480,000円/年額(一括給付)	2年間(学部3・4年次)	○	3年生	25歳以下(2022年6月30日現在)	経済系学部(経済学部、経営学部並びにこれらに類するもの)	併給可	○	○	10名			
4月	直接応募	(公財)交通通児育英会	貸与・給付	学部4万・5万・6万円(うち2万円は給付)/月額 院 5万・6万・10万円(うち2万円は給付)/月額	正規の最短期間まで	○	○	25歳以下(申込時)		併用可	○	○	学部300人 院20人			
4月	直接応募	(公財)寿財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	2年間	○	3年生	25歳以下(令和4年4月1日現在)		併給可	○	○	10名			0名
4月	直接応募	＜新編財団＞(公財)杉山奨学財団	給付	480,000円/年額(一括給付)	2年間	○	3年生	25歳以下(令和4年5月31日現在)		併給可	○	○	10名			
4月	直接応募	(公財)原・フルタイムシステム科学技術振興財団	給付	40,000円/月額	2年間	○	3年生	30歳以下(2022年4月1日現在)	工学系	併給可	○	○	10名程度			0名
4月	直接応募	(一財)ハロク村井博之財団	給付	30,000円/月額	1年間	○				他の給付奨学金との併用不可			30名程度			
4月	直接応募	(一財)ユニオン奨学財団	給付	30,000円/月額	入学時から正規の最短期間まで(最長6年間)	○	1年生			併用可(ただし選考において考慮される場合がある)	○	○	10名程度			
5月	直接応募	(一財)KIRII財団	給付	50,000円/月額	令和4年4月1日～令和5年3月31日までの2年間	○	3年生	1年生	建築学専攻	他の給付奨学金との併用、併給不可	○	○	5名			
5月	直接応募	(公財)富山文化財団	給付	300,000円/年額	1年間(2022年4月～2023年3月)	○	○	○		併用可	○	○	34名程度			
5月	直接応募	(公財)似鳥国際奨学財団下期	給付	自宅生:50,000円/月額 ※優遇者には月額最大3万円の学習奨励金を追加支給	1年間 ※2022年10月から2023年9月	○	1～2年生	2021年10月1日現在で学部生23歳以下、大学院生25歳以下		給付奨学金との併用不可(貸与奨学金との併用可)	○	○	最大100名(上期、下期合わせて)			
5月	直接応募	＜新編財団＞NPO法人ふれあい自然塾	給付+貸与	30,000円/月額 (給付20,000円+貸与10,000円)	最短の就学期間の卒業年度まで継続する制度あり	○	1～3年生	1年生(18歳以下) 2年生(19歳以下) 3年生(20歳以下) (2022年4月2日現在)		併用可(修学支援新制度(授業料減免+給付型奨学金)併用不可)	○	○	各学年10名程度			
7月	直接応募	(公財)暹美国際交流財団	給付	250,000円/月額	2023年4月からまたは2023年9月から1年間	○				併給不可(常勤職不可)	○	○	16名			
7月	直接応募	旭地久治勉学奨励金((社)佐倉市社会福祉協議会)【翌年度支給】	給付	入学金、授業料、施設費等学校納付金として年間1,500,000円を限度とする実費	正規の最短期間	○		満23歳未満		国の実施する給付型奨学金、貸与型の奨学金、進路奨学金のみ併用可	○	○	若干名			
7月	直接応募	大学生等修学支援特別給付金「相模原市」	給付	50,000円/1回限り		○				併用可	○	○	10名			
7月	直接応募	(一財)高久国際奨学財団【翌年度支給】	給付	70,000円/月額	1年間	○	進学者含む			併用不可(貸与型は除く)	○	○	約3名			
8月	直接応募	アメリカ・イアハート奨学金【翌年度支給】	給付	US\$10,000/1回	1回限り	○			航空宇宙科学関連又は航空宇宙工学関連	併用可	○	○	全世界から35名			
8月	直接応募	(公財)鹿児島県育英財団	給付	原則、大学(学部)に在学中に借り受けた機構奨学金・育英財団奨学金の全額		○	○	○			○	○	20名程度			
8月	直接応募	＜新編財団＞(一財)きのした未来財団	給付	480,000円/年額	2年間(学部3年次・4年次)	○	2年生	25歳以下(令和4年9月30日現在)	経済系学部(経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの(政治経済学部経済学、社会・国際学部経済学専攻等))	併用可	○	○	10名			
8月	直接応募	(公財)本庄国際奨学財団【翌年度支給】	給付	※学位取得までの最短期間にあたる期間で以下から選択 (1)月額20万円を1～2年間 (2)月額18万円を3年間 (3)月額15万円を3年1か月～5年間	学位取得までの最短期間	○	進学者含む	進学者含む	修士・入学時30歳以下 修士・入学時35歳以下	併用不可	○	○	若干名			
9月	直接応募【翌年度支給】	(一財)荒井芳男記念財団	給付	100,000円/年額(一括支給)	2023年3月	○	1年生	23歳以下(2022年4月1日現在)	機械系、化学系、電気系	併給可。ただし過去に当財団の奨学金または研究助成金を受けていない者	○	○	30名程度			
9月	直接応募	(一財)上修育英財団	給付	480,000円/年額	2年間(学部3・4年次)	○	3年生	25歳以下(2022年11月30日現在)	経済系学部(経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの)	併用可	○	○	10名			
9月	直接応募	ココ・コーラ教育・環境財団【翌年度支給】	給付	40,000円/月額	正規の最短期間	○		26歳以下		併用可	○	○	10名			
9月	直接応募	(社)さほうと21 坪井一郎・仁子 学生支援プログラム(随民等)【翌年度支給】	給付	学部:400,000円～800,000円/年額 院:600,000円～1,000,000円/年額	1年間	○	3・4年生	進学者含む	進学者含む	併給可	○	○	10名程度			
9月	直接応募	タクト奨学金	給付	200,000円/年額	1年間	○	○	25歳以下		併用可	○	○	10名程度			
9月	直接応募	(公財)似鳥国際奨学財団上期	給付	自宅生:50,000円/月額 ※優遇者には月額最大3万円の学習奨励金を追加支給	2023年4月1日～2024年3月31日の1年間	○	1～2年生	2023年4月1日現在で学部生23歳以下、大学院生25歳以下		給付奨学金との併用不可(貸与奨学金との併給可)	○	△	最大100名(上期、下期合わせて)			
10月	直接応募	＜新編財団＞(公財)阪部国際奨学財団	給付	100,000円/月額	2023年4月1日～2024年3月31日の1年間	○	○	○	学部24歳未満 修士35歳未満	他の機関から合計10万円を超える奨学金を受けていない者	○	○	15名程度			

【令和4年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和2年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内のあった時期	申請方法	奨学会等名	給付/貸与	金額(円)	支給期間	課程		年齢	専門分野	併用条件	出願資格等		全体での採用者数	大学推薦者数	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数			
						学部	修士(前期)				博士(後期)	学力優秀						経済困難		
10月	直接応募	(公財)ヨネックススポーツ振興財団 【翌年度支給】	給付	学部:50,000円以内/月額	2023年4月1日～2024年3月31日の1年間	○	○	○	30歳未満(申請年度4月2日現在)	スポーツ学等									記載無	
11月	直接応募	<<新編財団>> (一財)生涯学習開発財団	給付	500,000円/1人	2023年4月1日～2024年3月31日の1年間				50歳以上			○								
11月	直接応募	(一財)全国大学生協奨学財団 【たすけあい奨学制度】	給付	100,000円(一括) ※卒業修了まで6か月未満の場合、月2万円の前金で給付	2022年4月1日～2023年3月31日の1年間※	○					供給可	○							特になし	
12月	直接応募	(公財)東亜留學生育友会 【翌年度支給】	給付	30,000円/月額	2023年4月1日～2024年3月31日の1年間							○							若干名	
3月	直接応募	いわき市未来につなぐ人材応援奨学金返還支援事業	返還補助	在学中に貸与を受けた奨学金の2分の1の額 ※ただし、(64,000円×奨学金貸与月数)の2分の1の額又は153,000円のいずれか少ない額を上限とする	詳細は要項確認	○													50名程度	
4月	直接応募	山口県奨学金返還補助制度	返還補助	補助対象期間の月数÷2×奨学金の返還額 ※貸与期間が1年以上の場合、貸与月数の場合、利息は補助対象外。補助金額は、日本学生支援機構の無利子奨学金の最高額が上限	詳細は要項確認		○	○	前期	工学、理学、農学、薬学	地方公共団体が行う奨学金の返還支援との併用不可								25名程度(うち薬剤師枠5名程度)	
5月	直接応募	やまがた就職促進奨学金返還支援事業 《やまがた若者定着枠》	返還補助	26,000円×令和3年4月以降に奨学金の貸与を受けた月数(上限額124万9千円)	詳細は要項確認	○													230名	
5月	直接応募	やまがた就職促進奨学金返還支援事業 《産業人材確保枠》	返還補助	26,000円×令和3年4月以降の貸与月数 ※登録企業以外に就業した場合、支援額は1/2になります。女性の場合+10万円	詳細は要項確認	○													50名	
7月	直接応募	三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業(指定地域枠)(業種指定枠)	返還補助	在学中に借受予定の奨学金総額の1/4、既卒者は認定時点の奨学金借受残額の1/4(いずれも上限100万円)	詳細は要項確認	○			35歳未満(令和3年5月31日現在)											40名(指定地域枠15名、業種指定枠25名を予定)
8月	直接応募	旭川市若者地元定着奨学金返済補助事業	返還補助	旭川市内に定着している期間のうち3年間を限度とし、奨学金の返還金として返済した金額の1/2を年度ごとに補助(1年度当たりの補助上限額あり)	詳細は要項確認	○														記載無
8月	直接応募	徳島県奨学金返還支援制度 《とくしま回復》	返還補助	(1)日本学生支援機構無利子奨学金等の借受総額の1/2と奨学金返還残額(RS.3.31時点)のいずれか少ない方の額(上限額100万円) (2)日本学生支援機構有利子奨学金等の借受総額の1/2と奨学金返還残額(RS.3.31時点)のいずれか少ない方の額(上限額70万円)	詳細は要項確認	○														150名程度
9月	直接応募	山口県奨学金返還補助制度	返還補助	・補助対象期間の月数÷72×奨学金の返還額 ※採用決定された年の4月から2年間に貸与を受けた金額に限る ・有利子奨学金の場合、利息は補助対象外。日本学生支援機構の無利子奨学金の最高額が上限	詳細は要項確認				1年生	工学研究科、理学研究科、農学研究科、薬学研究科(これらに相当する研究科を含む)										25名程度(うち薬剤師枠5名程度)
10月	直接応募	石川県ものづくり人材奨学金返還支援助成制度	返還補助	大学院在学中に貸与された奨学金のうち、対象企業に勤務して3年間経過した時点における奨学金貸与額の返還額(上限100万円)	詳細は要項確認					理系										記載無
10月	直接応募	山梨県ものづくり人材就業支援事業奨励補助金	返還補助	卒業前2年間の貸与額(上限)	詳細は要項確認	○				理学部、工学部もしくはこれらに準ずる学部・研究科等										令和2年度卒業予定者21名 令和3年度卒業予定者35名
11月	直接応募	秋田県奨学金返還助成制度	返還補助	一般分:年返還額の2/3(上限133,000円) 未就学生分:年返還額の10/10(上限200,000円)	詳細は要項確認	○														
2月	直接応募	(公財)芸術協会《広島県》	貸与	20,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○					併用可	○	○							記載無
2月	直接応募	上越学生奨励学生 《上越市、妙高市、糸魚川市》	貸与	学部:70,000円/月額(無利子) 大学院:100,000円/月額(無利子)	貸付決定日から最短修業年限まで	○					併用可(ただし上越市奨学金との併給の場合は不可)	○								学部6名(前年度実績)
2月	直接応募	(一財)トヨタ女性技術者育成基金	貸与	600,000円/年額(実質無利子)	在学期間中(留年は不可)	○			1年生	理工工学系	併用可	○								50名
3月	直接応募	(公財)沖縄県国際交流・人材育成財団《沖縄県》	貸与	学部:45,000円/月額(無利子) 修士:70,000円/月額(無利子) 博士:80,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで(1年毎の継続審査あり)	○					貸与奨学金併用不可 給付型奨学金併用可	○								学部107名 院名程度
3月	直接応募	(公財)常盤奨学金 《いわき市、北茨城市およびその周辺地域》	貸与	30,000円/月額(無利子) 理系:35,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○					併用可	○	○							5名程度
4月	直接応募	(一財)あしなが育英会	貸与(+給付)※	一般70,000円/月額(うち貸与(無利子)40,000円、給付30,000円) 特別80,000円/月額(うち貸与(無利子)50,000円、給付30,000円)	2022年4月から最短修業年限まで	○			25歳以下		併用可	○	○							250名程度
4月	直接応募	大田区奨学生《大田区》	貸与	35,000円以内/月額(無利子)	最短修業年限まで	○					併用可	○	○							60名程度
4月	直接応募	岐阜県清流の国推進部	貸与	30,000円/月額(無利子)	正規の最短修業年限を上限	○					併給可	○	○							120名
6月	直接応募	(公財)岡田甲子男記念奨学財団 《長崎県》	貸与	50,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○					併用可	○	○							
9月	直接応募	<<新編財団>> 松山市特例奨学生《松山市》	貸与	300,000円、500,000円、700,000円、900,000円、1,100,000円から選択(無利子) ※修学に必要な費用に充て貸与	1回	○					併用可	○								200名程度